

I 調査結果の概要

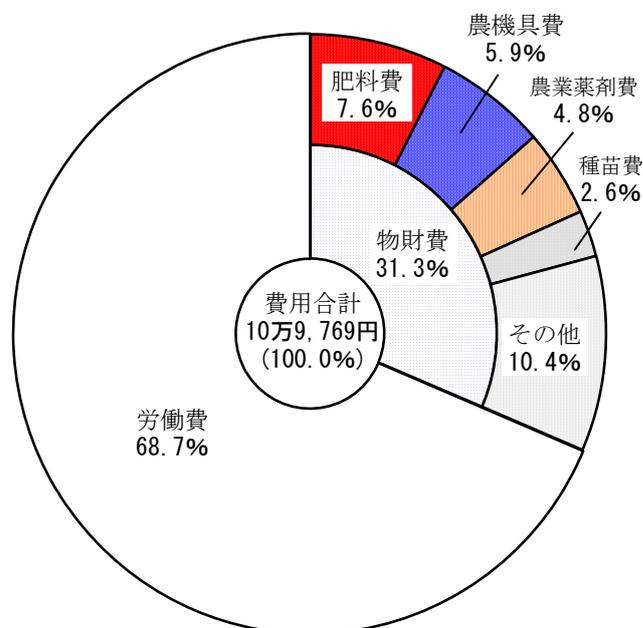
1 平成16年産原料用かんしょ生産費

(1) 平成16年産原料用かんしょの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は12万2,507円で、前年に比べ0.8%減少し、100kg当たり全算入生産費は3,792円で、前年に比べ5.0%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、自動車及び農機具費を中心に物財費が増加したものの、労働時間の減少により労働費が減少したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したことにより、4.3%増加の10万1,936円となった。

図1 主要費目の構成割合（10a当たり）



第1表 原料用かんしょの生産費及び収益性

区 分	10 a 当 たり		100 kg 当 たり	
	実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
	円	%	円	%
生 産 費				
物 財 費	34 335	5.4	1 062	0.7
労 働 費	75 434	△ 3.5	2 336	△ 7.6
費 用 合 計	109 769	△ 0.9	3 398	△ 5.1
生 産 費（副産物価額差引）	109 769	△ 0.9	3 398	△ 5.1
支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	113 117	△ 0.5	3 502	△ 4.7
資 本 利 子 ・ 地 代 全 額 算 入 生 産 費	122 507	△ 0.8	3 792	△ 5.0
収 量	3 230 kg	4.3	-	-
粗 収 益	101 936	4.3	-	-

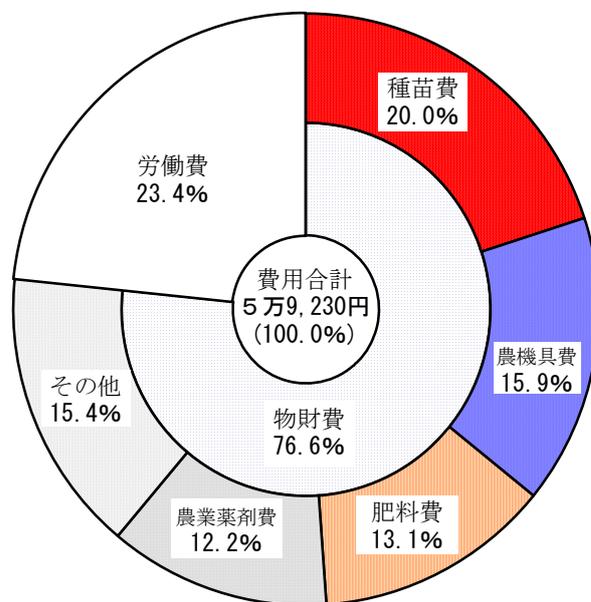
2 平成16年産原料用ばれいしょ生産費

図2 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成16年産原料用ばれいしょの10a当たり全算入生産費は7万1,441円で、前年に比べ0.6%減少し、100kg当たり全算入生産費は1,582円で、10a当たり収量が減少したことから前年に比べ2.7%増加した。

(2) 10a当たり全算入生産費が減少したのは、種苗費や農業薬剤費は増加したものの、肥料費が投入量の減少により減少したことや、労働時間の減少により労働費が減少したこと等による。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が減少したことにより、3.6%減少の8万972円となった。



第2表 原料用ばれいしょの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		100 kg 当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
	円	%	円	%	
生産費	物財費	45 351	0.1	1 002	3.1
	労働費	13 879	△ 1.8	309	2.0
	費用合計	59 230	△ 0.4	1 311	2.8
	生産費（副産物価額差引）	59 230	△ 0.4	1 311	2.8
	支払利子・地代算入生産費	61 667	△ 0.7	1 365	2.4
	資本利子・地代全額算入生産費	71 441	△ 0.6	1 582	2.7
収量	4 504 kg	△ 3.3	-	-	
粗収	80 972	△ 3.6	-	-	

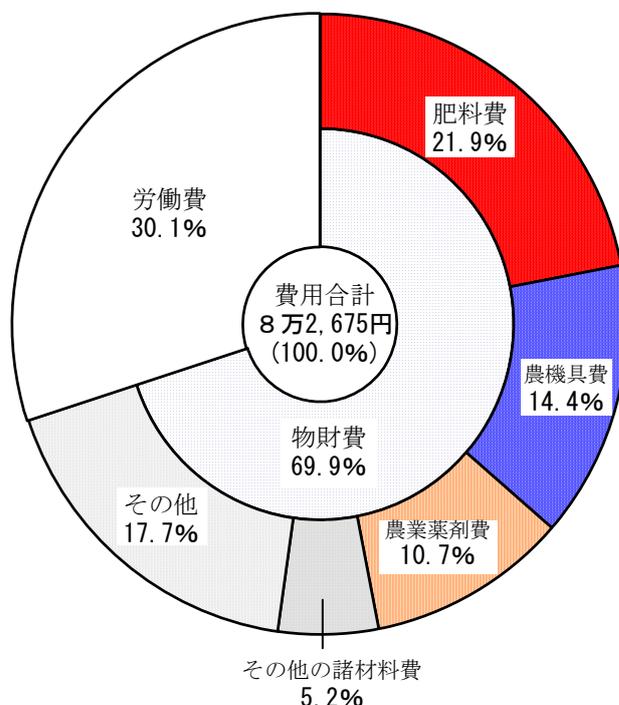
3 平成16年産てんさい生産費

図3 主要費目の構成割合（10a当たり）

(1) 平成16年産てんさいの10a当たり全算入生産費は9万5,143円で、前年に比べ0.1%減少し、1t当たり全算入生産費は1万4,025円で、10a当たり収量が史上最高の水準であったことから前年に比べ10.6%減少した。

(2) 10a当たり全算入生産費がほぼ前年並みとなったのは、労働時間の増加による労働費の増加等があったものの、適正施肥の推進により肥料費が減少したことや、除草剤の使用量の減少により農業薬剤費が減少したことによる。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が増加したものの糖度が低下したことから、5.5%増加の11万7,069円となった。



第3表 てんさいの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		1 t 当たり		
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %	
生産費	物財費	57,756	0.2	8,514	△10.3
	労働費	24,919	1.2	3,674	△9.4
	費用合計	82,675	0.5	12,188	△10.0
	生産費（副産物価額差引）	82,675	0.5	12,188	△10.0
	支払利子・地代算入生産費	85,583	△0.1	12,616	△10.6
	資本利子・地代全額算入生産費	95,143	△0.1	14,025	△10.6
収粗	収量	6,784 kg	11.8	-	-
	収益	117,069	5.5	-	-

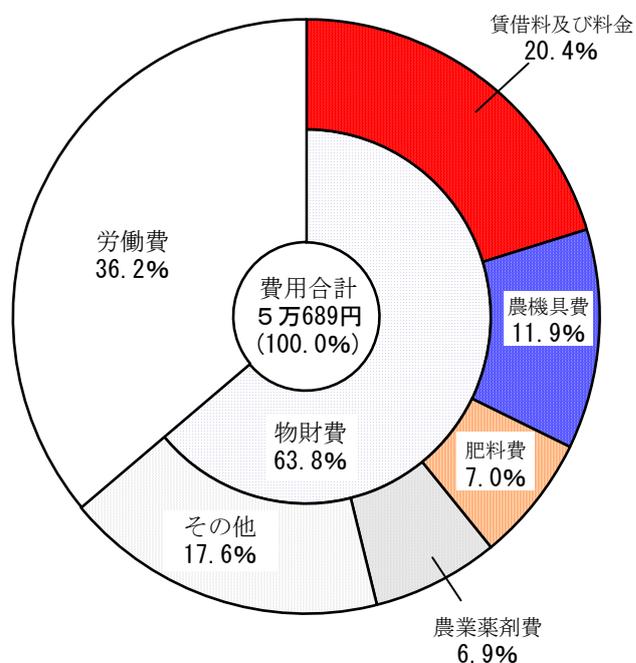
4 平成16年産大豆生産費

(1) 平成16年産大豆の10 a 当たり全算入生産費は6万5,231円で、前年に比べ2.4%減少し、60kg当たり全算入生産費は2万8,166円で、10 a 当たり収量が大幅に減少したことにより前年に比べ20.8%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、種子単価の上昇により種苗費が増加したものの、収量の減少や作業委託の進展に伴って、刈取・脱穀、防除等の労働時間が減少したことにより労働費が減少したことなどによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は、価格が上昇したものの収量が減少したため、6.3%減少の4万5,518円となった。

図4 主要費目の構成割合（10 a 当たり）



第4表 大豆の生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		60 kg 当たり	
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %
物財費	32 359	0.0	13 974	23.7
労働費	18 330	△ 7.4	7 913	14.5
費用合計	50 689	△ 2.9	21 887	20.2
生産費（副産物価額差引）	50 482	△ 2.9	21 798	20.1
支払利子・地代算入生産費	56 314	△ 1.1	24 316	22.4
資本利子・地代全額算入生産費	65 231	△ 2.4	28 166	20.8
収量	139 kg	△ 19.2	-	-
粗収	45 518	△ 6.3	-	-

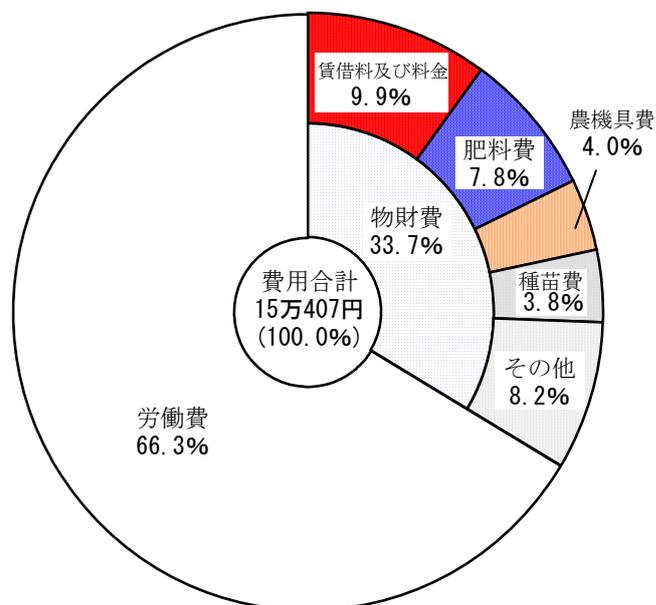
5 平成16年産さとうきび生産費

(1) 平成16年産さとうきびの10 a 当たり全算入生産費は16万9,412円で、前年に比べ3.4%減少した。また、1 t 当たり全算入生産費は3万1,452円で、相次ぐ台風の襲来により10a 当たり収量が減少したことから前年に比べ7.7%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、労賃単価及び労働時間が減少し労働費が減少したことや、賃借料及び料金が減少したこと等による。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量の減少に加え、糖度が低下したことにより、14.6%減少の10万7,431円となった。

図5 主要費目の構成割合（10 a 当たり）



第5表 さとうきびの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		1 t 当たり	
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %
物財費	50 729	△ 2.7	9 418	8.5
労働費	99 678	△ 4.6	18 504	6.4
費用合計	150 407	△ 4.0	27 922	7.1
生産費（副産物価額差引）	150 265	△ 3.9	27 896	7.2
支払利子・地代算入生産費	156 168	△ 3.3	28 992	7.8
資本利子・地代全額算入生産費	169 412	△ 3.4	31 452	7.7
収量	5 386 kg	△10.3	-	-
粗収益	107 431	△14.6	-	-